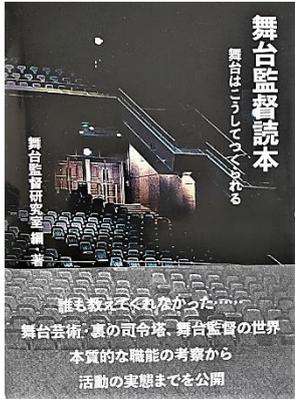


# 舞台監督研究室



発行 舞台監督研究室 2022年4月20日 第1号

## 『舞台監督読本』発売中！



舞台監督研究室編・著『舞台監督読本～舞台はこうしてつくられる』が2021年9月30日に発売されました。職務の検証を重ねて、八名の筆者がそれぞれの言葉で語った「舞台監督の職能とは何か」の最初の果実になります。クラウドファンディングにより、多くの皆様からの多大なご支援を得て

実現したものです。是非お手に取ってごらんください。全国書店、Amazonで好評発売中。当研究室にても只今取り扱い中。定価税込み1,100円。

## 定例 覆面放談 (1)

### ☆ 付き合いの作法

○Y 今日仕事で皆さんが舞台監督助手や他セクションの人たちと、どのように接しているかのお話を聞きたいと思います。例えば、私は現場で若手であることが多いですが、先輩なんかに対してなかなかうまく伝わらなかつたりするんです。皆さんどうしているのかなど。また就労時間についてもお聞きしたい。例えばこの頃はオンラインで進行することが多くて、四六時中仕事している状態なんです。

M・T オンラインってメール？

○Y いや、Zoom。

M・T Zoom！じゃあ私みたいにルーター持ってないとだめなんだ。

○Y そういう人は会社まで来るようにと。

A・T コロナのこともあって会議のタイミングを探ると夜になってしまう。

M・T そうすると、これコロナと関係なしに常態化する可能性あるよね。ノイズを発生するアプリを作って、かかってきたらそれ流せたらいいね。

A・T 装置デザインが決まってないけど稽古用を発注するにどうしようかっていうんで、夜中でも会議が入ってしまう。

M・T 私は出ないね。

S・T 家には持ち込まないほうがいいんじゃないかな。

M・T 現場でクリアーにするべきだよな。

Y・S クリアーにできないよ。

A・T 映像がらみが特に多いんだけど、みんなで見て話し合う必要があるからどうしても遅くなる。

S・T オンラインは別にして、勤務時間というのをどう考える？業務としては現場での時間と考えるが。

M・T マイワークという意味では何時になろうが仕方がないけど、やはり現場だよな。

○Y コロナがらみで家に帰っても制作から電話がかかってくるので、ずーと職務が続いているんじゃないかと。

S・T それはそうだよ。例えば地震が起きたとか緊急の場合はしょうがないけど。

Y・S ギャランティーとしてちゃんとできていればいいと思う。

やった時間のギャランティーがのっかっていればいいと思う。難しいとは思いますが事後でも請求すべき。

S・T 稽古前の打ち合わせなどはギャランティーに反映してきます？

M・T 稽古休みに稼働したときは請求する。

Y・S 金に換算するという考えをもっていないといけな。

S・T 稽古のギャラっていくらにしています？7掛け？

Y・S ケースバイケース。

Y・K 会社としては提示された額をトータルで考えて、できるかどうかの判断交渉になる。勤務日数を減らすということも考えられるが。

S・Y 演出部的には日数の融通は結構難しい。

—— 単価が下がってきているよね。

A・T 1本なんぼで個々に契約するというのも考えられる。

S・T 助手の入りを決めるのが難しい。早すぎたり遅すぎたりすることあるし。

—— 使える人を入れるにはだいぶ前に押さえなければいけないし。

Y・S 使う側がちゃんと使えれば助手はだれでもいいし、人は必ず見つかる。使いこなすのが舞台監督だから。

M・T 年寄りはいづらだけれど、私はあまり先輩後輩という考えを持たない。他の部署も含めて接し方はだれでも変わらない。

Y・S フラットなんだよ。演出家と舞台監督の関係含めてすべてフラット、基本は。先輩後輩という関係性は教育の問題。

M・T たしかドラッカーが言っていたけど、「人じゃなくて事」なんだ、って言うんだよ。そこを忘れるとズブズブになっちゃう。

M・T アルバイトに関しては座組の一員じゃないので、「なんのために」を共有していないので対応が少し違う。もちろん乱暴な言葉は使わないけど。

—— チームワーク作るために相性が大事だという話もあるが。

Y・S 相性なんてあるの？

S・T あると思うんだけど、自分の関係ないところでのそれぞれの相性がやっかいなんだよ。

Y・S ものをつくるうえで、それは当たり前じゃないの。いい舞台を作るといふことでは一緒じゃないの。

M・T 目的があつて目標があつて具体的なやることになったときに、やり方がそれぞれ違うから、そこでいろいろ問題が起きるので相性ということが出てくるんじゃないの。

Y・S それは違うと思う。それは壊さなきゃいけない。

M・T コミュニケーションって、舞台監督からの一方向じゃなくて双方向だと思う。

Y・S 「どうしましょうか」聞くのがいるが、間違いだと思う。

A, b, c と提示して、その弱点長所を話して、チョイスしていくのがコミュニケーションだと思う。

—— 先輩は使いづらいということとは？

M・T 先輩は使いづらいもんさ、やり方が固まっちゃってるから。やり方に正解はないと思っているので、相手によって指示の仕方を変える。

Y・S 舞台監督はこれがミスったらどうするかを考えなければいけない。

S・T ケツは拭かなきゃいけない。責任だけは取らなきゃいけない。

M・T 何か指示するとき自己目的化させないようなやり方にしなきゃいけない。どの方向に行こうとしているかを分かってもらう。

S・T フラットな関係で、みんなで共有するのが大事だよ。

O・Y どうしても疎通できないときは、とりあえず僕のやり方でやってくださいという言い方になってしまう。その結果自分でやってしまうことになったりする。

Y・S それは、お願いしたけど結局戻ってきてしまう。駄目だから俺がやるかというのはやめたほうがいい。任せたら任せなきゃ。

M・T 某演出家の場合何か作り物を見せてもダメを言わないんだよ。黙っているんだよ。これは駄目と同じで、何とかしろと言ってるんだよ。

S・T 質問だけどデザイナーたちとも意見が違ったらどうします。

Y・S それは説得する。説得するか脅すかどっちか。

M・T 舞台で初めて接する人との共有って難しいよね。

S・T どうしてもそりが合わない人は次からは仕事しない。

M・T 今までのやり方に対する対処と、いわゆる付き合い方ではマネジメントということでは後者が大事なんですかね。

Y・S いや、大事なだけけどね、友達化しちゃダメなんだよ。いつも来ている仲のいいメンバーだと友達化して緊張関係が薄れてしまう。言わなくても分かるというのは説明責任を果たさないことになる。コミュニケーションの中では友達化が落とし穴になる。

M・T 現場以外での付き合い方ってどう思います？

Y・S 例えば業者関係でいうと製作現場に顔を出すことが大事。進捗状況はもちろん、環境、人となりをつかむのはとても大事。

S・T 情報収集だよ。農業でいうと「生産者の顔を見る」。

M・T 相手もこちらを見るからそこでコミュニケーションがとれる。

A・T 逆に言うと、慣れ親しんであるからこそ相手の特性が分かって突っ込みどころを把握できるってことはある。また逆に、例えば演出家とデザイナーだけで話を進めて、こっちに全然降りてこないまま進んじゃってることもよく起きる。話しを通せよ！制作一業者間もそうだよ。

—— この後しばらく聞き取れず——

M・T 対制作についてはどうですかね。

S・T、M・T 大枠の製作することに関しては主従関係というか、規定されるのでは。

Y・S フラット。主従関係もなし。

A・T 確信犯的に出ることがあるから気を付けなければならぬ。

Y・K 公演の職責とステージの職責から考えると言うべきことは言うがそれぞれ権限が違う。

—— 明かりづくりや他のセクションの休憩って誰が決めるの？

M・T 最中の休憩ってこと？

O・Y タイムテーブルに載っている大枠の時間じゃなくて、最中の小休憩。

S・T、M・T それは打ち合わせの結果決められた時間内での休憩はそのパートの責任者じゃないか。

Y・S 俺は結構休憩しろって言うね。

O・Y 私も言いたいんだけど、間に合わないんじゃないかと思ったりして。

Y・S 間に合わないことなんてないの。そういうときこそ休憩をとったほうがいい。

—— つまり客観的に見て休憩を差配したほうがいいのか。誰がということではなく。

A・T 一つはね、デザイナーに劇場技術者への配慮があつて、そこは舞台監督が仕切れていうこともある。

—— 時間になりましたので、本日はお開きとします。次回もお楽しみに。(終)

## 情報コーナー

☆支援金関係  
事業復活支援金(5/31 締め切り、経産省 HP に申請フォームあり)

☆『千と千尋の神隠し』全国巡演中

☆朝倉展 4月16日～6月12日 神奈川県立近代美術館葉山  
6月26日～8月14日 練馬区立美術館

## — 編集後記 —

取敢えず、編集子の独断で体裁を変えてみました。持ち回りのコラム欄があつてもいいかと思ひます(紙幅との関係によりますが)。また、関係情報や、職務に関する論考も載せたいと思ひますので、ふるってご投稿願ひます。(み)